

土屋正忠 後援会ニュース

平成27年8月3日発行 土屋正忠後援会事務局

第103号



黒田東彦・日銀総裁を招致し質疑

衆議院常任委員会で
国家財政や地方行政を支える
土屋正忠代議士は衆議院で、
国家財政や日本銀行等の金
融政策を所管する財務金融
委員会の理事。全国47都道府
県と1740区市町村を支
える地方行政、NHKやNT
Tなど放送・通信、消防、選
挙制度等を所管する総務委
員会。この二つの常任委員会

を通じて日本国の根幹行政
を担っています。さらに憲法審
査会の50人の委員に選ばれ、
選挙権年齢の20歳から18歳へ
の引き下げ等や今後の憲法
のあり方を審査しています。
議院内閣制は政府・与党二
体が原則です。各分野にわた
る政策は自民党の政務調査
会の下承なしには政府の法案
にはなりません。自民党では
毎朝8時から政務調査会の
各部署が開かれ、法案審査を
行います。土屋正忠代議士は
各部署に参加。市長の経験
を活かし、発言を続けていま
す。最近では治安・テロ対策
調査会の事務局長として来
年のサミットや東京オリンピック
対策の強化、教育委員会改
革、交通政策で地域の公共交
通網整備、医療改革、税制調
査会で地方法人税の外形標
準課税や、北朝鮮による拉致
事件解決のための制裁プロ
ジェクトチーム(PJT)の事務
局長等活躍し、安倍内閣を
支えています。

自民党政務調査会
政策づくりに市長の経験を活かして

4月22日小型無人機ド
ローンが首相官邸屋上で発
見、対策が急務となった。前国
家公安委員長・古屋圭司代
議士のもと立法チームがで
き、土屋正忠代議士は事務
局長となり僅か一か月余りで
法案をつくり6月12日に衆
議院に提出。また小学校五年
生の子供を自然に恵まれた



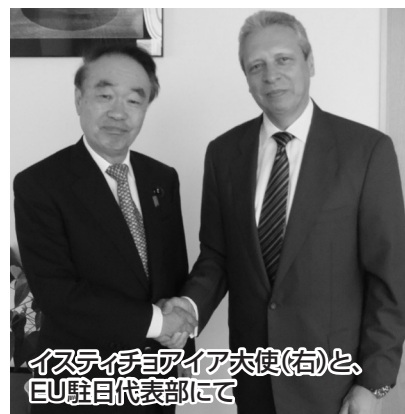
対北朝鮮制裁案を安倍内閣総理大臣、
山谷拉致問題担当大臣、岸田外務大臣に答申

平成26年 衆議院議員選挙結果

候補者名	得票数	得票率
当 土屋 正忠 (自)	106,143	45.81%
菅 直人 (民)	89,877	38.79%
ゆうき 亮 (共)	35,699	15.41%

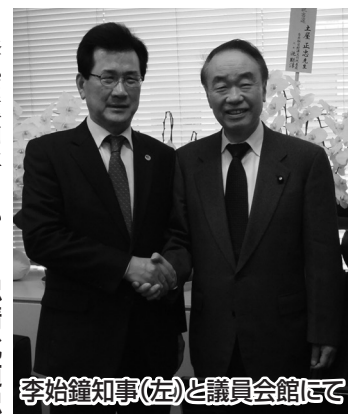
農山漁村で体験教育を行う
奨励法の策定のため、自民党
小委員長として先頭に立つて
います。昨秋、危険ドラッグ
の取り締まり強化にも、厚労
省、警察庁、法務省幹部と打
ち合わせ法改正を提言、田村
前厚労大臣を中心に議員立
法で成立させ、被害が激減し
ています。

おかげさまで三選を果たし、 永田町の真ん中で働いています



イスティチョア大使(右)と、
EU駐日代表部にて

駐日ルーマニア大使が
今やEUの駐日大使に
駐日欧州連合代表部イスティチョ
ア大使から「土屋市長お久しぶ
りです」と声をかけられたのは驚
いた。岸田外務大臣主催の前EU大
統領フアン・ロドリゲスさんの歓迎レセプ
ションの席上だ。
イスティチョア大使はルーマ
ニア国外交官で駐日公使を務めた経
歴を持ち、武蔵野市とルーマニア国
ブラショフ市の交流で仲立ちをして
いただいた。今はEUの国際公務員と
して駐日大使の重責を担っている。
6月29日、駐日EU代表部を改め



李始鐘知事(左)と議員会館にて

李始鐘知事はかつて忠清北道忠
州市長を務め、その後国会議員とな
り、今は韓国9道の知事のまとめ役、
会長として活躍中だ。
20年前、忠州市と武蔵野市が友
好都市となり、市民交流や職員交
流などはじめた時のパートナーだ。
15年ぶりの再会にお互いに感激し、
抱き合って再会を祝った。

日本と韓国の友好を期し 李始鐘知事と再会

1月29日、韓国忠清北道知事・
李始鐘(イシジョン)さん来訪。韓国
には9つの道、9人の公選知事が地
方政治の中心だ。



JR東日本・清野会長(中央)、
稲葉・小金井市長(右)と
小金井街道踏切跡にて

中央線三鷹〜立川間13kmの高架
化事業は1800億円の巨費を投
じて平成22年完成。駅舎や側道など
関連工事が行われ、平成27年3月に
清算が完了した。
高架化によりラッシュ時には1時
間に112分しか開かなかった小金
井街道踏切をはじめ、東小金井駅北
口区画整理、武蔵境駅南北の街づく
りが画期的に進んだ。清野会長に御
礼を申し上げた。

JR東日本・清野会長に 中央線高架化事業完成の 成果を視察していただく

コミュニティバス
運行20周年

ちゅうバス



2003年12月運行開始

ムーバス



1995年11月運行開始

COCOバス



2003年3月運行開始

市民の足「コミュニティバス」は1995
年11月、武蔵野市の吉祥寺駅から1
周東回りの路線「ムーバス」が走り始
めたのがきっかけだ。20年たった今日
では全国1740区市町村のうち
1100区市町
村が走らせ国民
の足として定着
している。

◆編集後記◆
●今号は特集として、日本の存
立と、安全を守るためにはどう
すべきか、国会の平和・安全
保障法制を軸に土屋正忠代議
士の見解をまとめました。
●1・4面は代議士の国会活
動や地域活動の近況を記事にい
たしました。
●後援会の皆様の日頃のご支援
に感謝しつつ、8月25日(火)恒
例のビアパーティでお目にかか
りましょう。